謙虚さが大事な理由

昔話から、親や、先生の教え、特に日本では「謙虚」である事が美徳と称される事が多くあると思います。

まずは謙虚の定義。自分をあまり主張せず、自分は他人よりも優れているとは思わず、控え目で、他人から学ぶ気持ちがあると言う事らしいです。

集団主義が欧米と比べて強い日本で謙虚さが美徳とされる理由が分かりますね。集団の和を乱さないためには、主張せずに控え目にする事が大切ですから。

と言いつつも、より集団主義性が強いと言われる中国は日本ほど謙虚さが美徳では無いと言う事を少し調べたり中国人の友人に聞いて、集団主義性と謙虚さの直結は安易な結論付けかもしれません。何か意見があったらコメント欄に教えて下さい。

本題に戻って謙虚さが大事な理由。

ワシントン大学の調査結果によると、謙虚さは仕事において、知性や誠実さよりも個人のパフォーマンスに直結するとか。

他にも謙虚なリーダーの方が、社員はより仕事にやりがいを感じたり会社を辞めたくないと思わせる要因になっているとか。

どれもこれも、謙虚であるから、自分を過信せずに、自分は他人よりも優れていると思わないからこそ、自分を高めようと努力する。他人から学ぼうと言う気持ちが、学習の吸収率を高めて、人の話を熱心に素直に聞くと言う行動に移るからこそ、仕事場でのパフォーマンスが上がるのでしょうし、リーダーとして社員が付いて行きたいと思うような人物であれると言う事らしいです。

そんでもって、私が思う謙虚さが大事な理由、謙虚である事は圧倒的に無難だからです。謙虚であれば、悪目立ちする事なく、敵を作らずにひっそりと生きて行ける可能性が上がるわけです。村社会、人間関係、社内政治、目を付けられたら終わりです。ただ、謙虚に控え目に、主張せずに学ぶ姿勢で仕事をこなせば、変に目を付けられる可能性がグッと下がるわけです。

派閥のリーダーになる、皆から好かれる。これは非常に難しい。それこそ、才能やスキルが要求されますが、謙虚さなんてどんな奴でも演技出来るわけです。

私もそうでした。謙虚とは真反対の性格ですが、喋り方を柔らかくしたり、発言回数を減らしたり、ポツンと座ったり、「いえいえ、そんな事ありません。皆様のおかげです」と言うように謙遜しまくったりして、簡単に謙虚マンになる事が出来ました。

だから、安心してください。あなたにも出来ます。無難に生きながらも仕事場でパフォーマンスを出したいのなら謙虚マンで生きましょう。